

第45期 決算公告

株式会社京都コープサービス

貸借対照表

(2022年3月20日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	433,724	流動負債	115,866
現金及び預金	378,650	未払金	36,508
棚卸資産	336	未払費用	21,010
前渡金	1,021	未払法人税等	12,409
立替金	2,128	未払消費税等	7,789
未収入金	51,879	前受金	19,690
貸倒引当金	△ 292	預り金	6,212
		リース債務	303
		賞与引当金	11,941
固定資産	199,438	固定負債	29,843
(有形固定資産)	186,901	預り保証金	136
建物	2,084	長期リース債務	1,214
建物附属設備	702	退職給付引当金	26,428
工具器具備品	3,101	役員退職慰労引当金	2,064
リース資産	1,380		
減価償却累計額	△ 5,366	負債合計	145,709
土地	185,000	【純資産の部】	
(投資その他の資産)	12,536	株主資本	487,453
差入保証金	1,060	(資本金)	50,000
繰延税金資産	11,476	(利益剰余金)	437,453
		利益準備金	5,240
		その他利益剰余金	432,213
		別途積立金	155,000
		繰越利益剰余金	277,213
		純資産合計	487,453
資産合計	633,162	負債及び純資産合計	633,162

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品は最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法を採用しています。

②リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産についてはリース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

②賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

③退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上しています。

④役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職金規則に基づく期末要支給額を計上しています。

(4) その他の重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

2. 当期純損益金額

当期純利益 48,085千円